

私とTITCC

一ニの一年と七月

へ出会へ五月二日

富田 尚

「へん入ったテニス部があまりにもつまらないので、もう絶体目撃車は手にはない」と誓ったのに、サイフリング部に誘われる。入るといさなりバニキに座せられる。余に、ハイトを出すと、すかさず、堀氏が百円ライターで火をつけてくれた。この車が私を入部させた第一の理由である。というのも、テニス部のあの封建的体制とは全く違った。自由な明るい雰囲気だ。あまりにも私には新鮮だ。大層うしろさというものを感ぜさせた。へん入もこのムードは前二枚でいいと、又、前

してはならぬと怒りかかっているがどうしよう。

へ初見へ六月×日

五月十日の予定がストのため、あひのびの新車コンパ、新入の室倉もいる。スロープでの堀氏の木登機、名取のバカ録音（笑）が今でも目にはかぶ。この頃、水工のトレーニングがいやなものだった。根、からあくのを走るのが嫌いなだけにクラブは来、トレーニングはへ予備金へ七月十七日二十日
 新入の井村氏をすしん、総勢十三名。この時、いれませ抑えていた自乗車に対する概念が一挙に覆えられた。押して歩くこととは何んもの抵抗もなかったのだが、見られずでは、自乗車は、軽快に走って来た走れりものだと考え、又、いれん忠実に走ってきたのた、たか、何んて二人間に重

いものをつけて走らなければならぬのか、
これでは、全く健康さというものが失われ
てしまう、クラブランはこんなものではない
等と、二枚までの考案にこれとよく反発する
現実に疑問を感じ、その現実に無理に自分を
押し合わせようとしてまた自分に、情気がさ
してそのたのた。これまで、登りでは下る来し
みちけでなく、登ることもそのものと来し
みちけ、あ、た、か、明神、三日では全くそれが味わ
えなかつた。

八夏金船 八月十五日〜三十日、

すてに卒業し、藤倉氏、特別参加の故望月
氏、そして野崎氏の四名。一年は私だけ
四人中、カが三人もいると、編成のなご地盤
をたがたが、予備金船での疑問に列して、未

下りの答への得られたい私にして、正統派の諸
氏といーしと走ったことは、非常に参考になる
た、いっはも健康志であるが、他の班とは一味ち
が、正金船であつたと思ふ。又、四人がそれ
ソロで十分走れるだけに、互いに自分の走りを見
張り合うため、口にはいいものの、自ずと、バ
ラバラになり、全員で走ったのは最後の日だけ。
感動明だったのはやはり、集金船で日に送けた言
と念つた時。それだけが個人の体験を、いかに
自分が一番すばらしい体験をしてきたのだといつ
た雰囲気でも、命つた事である。

八秋 〳

夏金船も終わり、都に存じんで、一年が自分の
個性を表わしはじめた。何んをによくマ、ハ、次
木、終止マ、マ、の栗原、何とあつていふかわけ

2

のわかつん金巻 マラメウと集げ... の名
取 マラメウと一ムマラメウは皆行。責任も
よく好き勝手にとされたこの頃は来たのしか

た。工大祭の後には、この七人が兄弟のよう
に、さんぽムトトであつた。

入冬

前期に少し遊ぶすえたため、それを取り戻

そうと一月 二月は勉強に力を入れた。だが

現象はまたか、た。

入春

新入部員がどっと入ってくる。E.S.C.A 理

事である。企画局長をやらせしめ、東女へ
も手を廻したため、全く手の付けまじりのな

いはどせのしくなつてしまつた。一年には

早く静しなして、もうあつた。又、部員を

この目覚めもつてもうあつたと密かに
なみうすく、いかな。今に思は、取つて
あくのが最善であつたようだ。

入夏

予備合宿、夏合宿と、あつたり部員森いものば残

つていい。ほんをなく、すべが事務用を済

せて、下派しやす。んか、来しおと、こと

は付くはつてきたようだ。これは春ごろから感じ

はじわつて、このころのためか、つには、専科新属の

こもがあると思われ、たは科に入つて、まて

勉強を全くやる身となく、まて、サイフリ

ニグに別しては、一年のまに垂りかえられた私

のサイフリニグ考を無理に押し進めよう、意識

してきて、たのこも、つて合宿での事

取、これでおげ全く、サイフリ、この自属をなく

して一する。た、野崎氏とも話してけたが、
解答は出なかった。又、私の意見が一年たつ
すく伝わらなかつたのか。どうもうしろ付す
る及ぶが感じのわすれを去るにんたりもい
えんが。こんなで、最近までおまっづけて
た。やっ、と、やっ、と、おまっづけて
つの子御衆を見つけた。いかしとつも
し、くりこない。

へ秋まーて今

栗女ラン、富士下下、十一月月創ラコとス
ヤシマールにエニなした。このタイムムトライヤ
ルで久々に感得したのは山頂で全員の集客一
たいてこの皆の顔を見たりは親を見たりとてあ
た、い、う、と、批難はあ、たも、の、成、り、し
たの下、と、う、集、客、が、あ、り、あ、り、と、感、し、ら、れ、た

一、お、か、え、る、な、ら、谷、地、名、が、や、っ、つ、な、か、と、少、な、な、
た、こ、と、で、あ、る、。お、れ、と、及、し、て、十、一、月、月、創、ラ、コ、は、
ん、た、X、O、/、こ、の、一、言、は、つ、ま、い、

